



**能** 登町議会第1回定例会は、3月7日に招集されました。会期を21日までの15日間と定め、平成20年度一般会計予算や条例改正などの町長提出議案47件が上程されました。

持木町長が平成20年度施政方針、議案の提案理由を述べたあと、16人が議案について質問しました。そのあと公平委員、固定資産評価委員、教育委員の人事案件3件について同意し、そのほかの議案は各常任委員会に付託され審議されました。

最終日の採決では、委員長報告を受けて議案44件が原案のとおり可決されました。また「のと鉄道バス転換に伴う激変緩和措置延長に関する意見書」など2件の意見書が議会議案として提出され、原案のとおり可決しました。

# 平成20年度当初予算が成立。



## ●同意された人事案件（3件）

能登町公平委員会委員の選任について▼金七政彦さん（60歳）  
 能登町固定資産評価審査委員会委員の選任について▼赤田一男さん（70歳）  
 能登町教育委員会委員の任命について▼松本博さん  
 後任として廣瀬英人さん（39歳）  
 〓小木〓を任命

## ●町長提出議案（44件）

〔平成20年度予算14件〕  
 一般会計予算▼歳入歳出の総額を127億円とする

有線放送事業特別会計予算  
 国民健康保険特別会計予算  
 後期高齢者医療特別会計予算  
 老人保健特別会計予算  
 介護保険特別会計予算  
 観光施設特別会計予算  
 公共下水道事業特別会計予算  
 農業集落排水事業特別会計予算  
 漁業集落排水事業特別会計予算  
 浄化槽整備推進事業特別会計予算  
 簡易水道事業特別会計予算  
 水道事業会計予算  
 病院事業会計予算

〔平成19年度補正予算10件〕  
 一般会計補正予算（第9号）▼

歳入歳出それぞれ4億3387万7千円を減額し、予算総額を146億2971万2千円とする。民生費、土木費、消防費、災害復旧費を追加し、決算見込みによる調整を行う  
 国民健康保険特別会計補正予算（第3号）  
 介護保険特別会計補正予算（第3号）  
 観光施設特別会計補正予算（第3号）  
 公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）  
 農業集落排水事業特別会計補正予算（第5号）  
 漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）  
 浄化槽整備推進事業特別会計補

正予算（第4号）  
 簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）  
 病院事業会計補正予算（第3号）  
 職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について▼職員の自発的な発意により、職を保有しながら大学課程などの履修や国際貢献活動のための休業を認めるもの  
 能登町特別会計条例の一部を改正する条例について▼能登町後期高齢者医療特別会計を新たに設置する  
 能登町国民健康保険条例の一部を改正する条例について▼乳幼児の窓口負担2割の対象者を義務教育就学前まで拡大。70歳以上75歳未満の窓口負担を1割から2割に変更。40歳以上75歳未満への特定健康診査などを行う  
 能登町老人福祉センター条例の一部を改正する条例について▼老人福祉センター（笹ゆり荘、山せみ荘）の入浴料を改正（11頁参照）  
 能登町老人福祉施設条例の一部を改正する条例について▼老人福祉施設（布浦老人生きがいセンター、九十九荘、たなぎ荘）の使用料を改正（11頁参照）  
 能登町心身障害者医療費の助成

に関する条例の一部を改正する条例について▼「老人保険法」が「高齢者の医療の確保に関する法律」に改正されることに伴う改正  
 能登町生活支援ハウス事業実施条例の制定について▼高齢者が支援ハウス（多花楽）に入居し、必要なサービスの提供を受けることができるよう制定  
 能登町障害者支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について▼旧瑞穂保育所を障害者支援センターとし、障害者の就労面や生活面における一体的な支援を行う。管理運営は指定管理者を公募予定  
 能登町国民健康保険高額療養費及び出産費資金貸付基金条例の一部を改正する条例について▼「老人保険法」が「高齢者の医療の確保に関する法律」に改正されることに伴う改正  
 能登町後期高齢者医療に関する条例の制定について▼後期高齢者医療について、町が行う事務に関する必要事項を定める  
 能登町立公民館条例の一部を改正する条例について▼公民館の利用料金を統一する（11頁参照）  
 能登町体育施設条例の一部を改正する条例について▼能都、柳田、内浦体育館の使用料を見直

し、共通券ですべて使用できるようにする（11頁参照）  
 能登町藤波運動公園管理中央センター条例の一部を改正する条例について▼藤波運動公園の芝生広場の使用料を有料（柳田植木公園グラウンドゴルフ使用料と同額）とする（11頁参照）  
 能登町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について▼「老人保険法」が「高齢者の医療の確保に関する法律」に改正されることに伴う改正  
 能登町営住宅条例の一部を改正する条例について▼老朽化のため現在募集を停止している上田町町営住宅、鶴町町営住宅、当目町営住宅、庄崎団地、犬山団地の用途を廃止する。城野町営住宅の元農政局住宅と元医師住宅は町営住宅建て替え工事により除却する  
 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について▼通称「珠洲道路」における携帯電話不感地帯を解消するため、「柏木・太田原辺地」に新たに総合整備計画を策定  
 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について▼理由由で「当目辺地」の総合整備計画を変更

町道路線の認定について▼北河内11号線（バイパス整備のため旧道を県道から町道へ）、十郎原黒川1号線、1級時長上町1号線、小間生8号線、小間生9号線の4路線（農道から町道に移管）  
 町道路線の変更について▼上町1号線（1級時長上町1号線との重複部分を除く）、行延合鹿1号線（終点を延長し、1級の幹線町道に変更）  
 公の施設の指定管理者の指定について▼まつなみキッズセンターの指定管理者を「あつふる」  
 〓松波〓に指定する



## ●可決された議会議案（2件）

のと鉄道バス転換に伴う激変緩和措置延長に関する意見書の提出について▼平成20年度から3年間をかけて段階的に廃止される運賃差額激変緩和措置の期間延長を求めるもの  
 原爆症認定制度の抜本的改善を厚生労働省に求める意見書の提出について▼原爆症の認定について、内部被爆のみならず影響や健康状態などを総合的に判断し、迅速かつ適正な対応を推進するよう要望するもの

# 人事異動

平成20年4月1日付

※係長級以上を掲載

【課長級】

▽小西和夫(税務課長)▽坂口良生(町民課長)▽大門康博(建設課長)▽井口潔(学校教育課長)▽行谷一芳(生涯学習課長)

▽山森景治(宇出津総合病院事務局長)▽谷内啓一(総務課小木支所長)▽角田哲郎(環境対策課能都サービスマン)▽加須屋勲(農林水産課水産分室長)▽坂本秀八(奥能登広域圏事務組合)▽大村吉宏(奥能登クリー

ン組合)

【課参事級】  
▽谷内裕幸(総務課秘書室長)▽岩池浩(総務課行財政改革室長)▽南代英之(能都衛生センター所長)

【課長補佐級】

▽大松敏明(総務課課長補佐)▽平彦邦(税務課収納対策室次長)▽西谷内としえ(町民課内浦サービスマン課長補佐)▽向峠利晴(健康福祉課課長補佐)▽多花楽会)▽朝川由美子(健康福祉課課長補佐)▽田尻義和(多目的交流センター所長)▽宮谷内絹子(農林水産課課長補佐)

▽北島弘信(農林水産課課長補佐)▽藤田彦人(農林水産課課長補佐)▽佐野輝子(農林水産課柳田サービスマン室次長)▽坂尻敏枝(農林水産課柳田サービスマン室課長補佐)▽安宅義弘(建設課課長補佐)▽松田毅(水道課課長補佐)▽道下可長(生涯学習課課長補佐)▽宅崎欣子(宇出津公民館課長補佐)

【主幹級】  
▽小坂雅美(総務課小木支所主幹)▽池上由美子(総務課高倉出張所次長)▽町中直子(企画財政課主幹)▽池尾由紀枝(監理課主幹)▽河原美恵子(こどもみらいセンター所長)▽志幸久子(環境対策課能都サービスマン室主幹)▽西谷文子(農業委員会事務局主幹)▽滝久美(生涯学習課主幹)

【係長級】  
▽佐藤美智子(議会事務局書記)▽鏡島敏雄(総務課交通安全係長)▽折坂昭夫(総務課選挙係長)▽橋本直博(企画財政課国際交流係長)▽小川勝則(企画財政課企画調整係長)▽川端絹代(税務課庶務係長)▽高田八穂枝(町民課戸籍係長)▽石平哲巳(町民課内浦サービスマン室総務係長)▽池脇桂子(健康福祉課係長)▽社会福祉協議会)▽河

崎恭子(健康福祉課健康推進係長)▽川端悦子(健康福祉課健康推進係長)▽藤谷みゆき(環境対策課環境係長)▽平美代子(環境対策課能都サービスマン室住民係長)▽小島由美(建設課建築住宅係長)▽浜田健司(建設課都市整備係長)▽岩住均(商工観光課商工労働係長)▽辻正幸(水道課浄水係長)▽吉村泰輝(学校教育課教育係長)▽藤田朋子(会計課会計係長)▽福田すみ子(宇出津総合病院医療サービスマン推進室係長)▽石崎宏子(宇出津総合病院係長)

【保育所所長】

▽金谷千代子(ひばり保育所)▽本間喜美子(鶴川保育所)▽斎藤富喜枝(高倉保育所)▽高山礼子(神野保育所)▽中屋絹枝(柳田保育所)▽吉田ちづ子(上町保育所)▽濱高妙子(内浦保育所)

【保育所主任保育士】

▽広沢良枝(しらさぎ保育所)▽角田真弓(高倉保育所)▽棚田照美(神野保育所)▽古谷和子(柳田保育所)▽岩崎範子(上町保育所)

【派遣等】

▽千徳博(県地方課)▽南山寛幸(県地域振興課)▽喜多隆志(県産業立地課)▽山口竜次郎

(県道路建設課)

【新規採用者】

▽辻国広(宇出津総合病院医師)▽時國純子(宇出津総合病院臨床検査技師)▽塩谷久美(宇出津総合病院管理栄養士)▽宮崎佑希(宇出津総合病院看護師)

【退職者50人(3月31日付)】

▽寺下一博(建設課長)▽元谷猛(税務課長)▽仕明哲(町民課長兼内浦サービスマン室長)▽川口登(宇出津総合病院事務局長)▽芦田正良(多花楽会事務局長)▽國盛孝昭(学校教育課長)▽中谷竹本(下水道課担当課長)▽亀原実栄(企画財政課担当課長)▽山城陽子(環境対策課能都サービスマン室長)▽海老名隆治(内浦クリーンセンター所長)▽下野博(生涯学習課長補佐能都体育館長)▽谷田昌子(老人憩いの家所長)▽高田ふみ子(環境対策課能都サービスマン室主幹)▽木村富枝(こどもみらいセンター所長)▽中田美津子(健康福祉課主幹)▽新谷ちづ子(社会福祉協議会主幹)▽田谷恵子(農業委員会事務局主幹)▽塗師康廣(老人憩いの家専門員)▽角田幸二(商工観光課主幹)▽森下純子(町民課主幹)▽安宅喜一(環境対策課主幹)▽川畑マサ枝(総務課小木支所係長)

▽竹中はつえ(生涯学習課係長)▽松元祐美(健康福祉課技師)

▽新出昇(総務課秘書室技師職員)▽山岸武光(学校教育課技師職員)▽芦田フミ子(学校教育課労働職員)▽長坂良雄(環境対策課技師職員)▽境一男(環境対策課施設主任)▽志幸長平(生涯学習課労働職員)▽小城澄美子(上町保育所所長)▽佐藤幸子(内浦保育所所長)▽西野房枝(ひばり保育所所長)▽中谷友子(上町保育所)▽下美智子(柳田保育所)▽小谷内千鶴子(上町保育所)▽坊谷節子(内浦保育所)▽赤川誠(宇出津総合病院医師)▽清澤旬(宇出津総合病院医師)▽稲垣聡子(宇出津総合病院医師)▽橋田美恵子(宇出津総合病院主幹)▽國分茂男(宇出津総合病院主幹)▽竹内幸枝(宇出津総合病院係長)▽川脇昌枝(宇出津総合病院調理師)▽山田絹子(宇出津総合病院主任臨床検査技師)▽松本孝之(宇出津総合病院臨床検査技師)▽東絹子(宇出津総合病院准看護師)▽上田節子(宇出津総合病院准看護師)▽小谷絹江(宇出津総合病院准看護師)▽竹山好子(宇出津総合病院准看護師)

# 公民館通信 第8号

## 小木公民館編

小木地区活性化センターには小木支所と小木公民館が併設されています。2階には多目的ホールと調理室があり、1階には事務所と図書室が完備されています。今回は地域に根差した活動を続ける小木公民館を紹介します。

能登町立小木公民館  
字小木 15-30-1 ☎ 0764-0194  
■地区世帯数 970 ■人口 2,848



## 公民館に行ったことがありますか？

「公民館を利用する人は決まった年齢層の人」だと決めつけていませんか。公民館は子どもからお年寄りまでが共に生涯学習に親しめる場所です。何か趣味を始めたいという人、仕事が一段落して余暇を楽しみたいと考えている人など、新しい発見を求める人はぜひ公民館へ行ってみましょう。各年齢層に合わせたさまざまな趣味・文化・スポーツ教室が開かれ、事務所内に設置された図書室では読書も楽しめます。



地域の人を講師に招いて行われる「切り絵教室」では、昆虫や花、風景などを切り抜きてきな作品を作ります

小木公民館では「食」に関する情報を地域の皆さんに提供しようと、町の食生活改善推進員と連携を図り、さまざまな料理教室を開催しています。子どもを対象としたお菓子作り体験や男性のための料理教室、「健康作り」をキーワードに食品の長所を生かす料理方法を考える教室など「安心・安全な食」についても学びながら「食育」

## ●小木公民館で楽しめる教室・サークル

教室サークル名	開催日	教室サークル名	開催日
大正琴教室	第1・3土9:30	生け花教室	第2・4木14:00
民謡教室	第2・4火19:30	詩吟教室	毎週火20:00
俳句教室	第1・3月19:00	第1カラオケ教室	毎週日14:00
ダンス教室	毎週月 19:30	第2カラオケ教室	
陶芸教室	第4土日13:30	扇会舞踊教室	毎週月
御船祭囃子保存会クラブ	毎週木19:30	劇団 きらめきスターズ	毎週火19:00

へとつながる内容を行事に取り入れています。また、酒蔵見学バス研修を開催するなど、実習だけに限らず食にまつわる施設めぐりなども合わせて実施しています。

## 食と運動に関心もって元気に暮らそう！

小木地区では年齢に関係なく手軽に体験できるニュースポーツ教室などに関心が高まっているようです。公民館で開かれる各ニュースポーツ教室には、健康増進・体力向上のためにと運動に興味を持つ60歳から70歳代の女性の参加者が特に多いとのこと。今後は参加者からの意見も参考にしたスポーツメニューも増えそうです。



子どもたちがお母さんと一緒にお菓子を作る「親子クッキング」。みんなで楽しく作って食べるとおいしいね

自分らしく充実した生活を送るためには、心と体の健康がとても大切です。公民館では地域をあげて行われる民芸展や盆踊りなどのイベントはもちろんのこと、年齢や性別に関係なく料理に親しむ教室や、生活に役立つ知識が楽しく身につく行事などを企画していきたいということです。これからも地域の皆さんが明るく健康に暮らせるための「お手伝い」ができる公民館として、活発な活動が進められます。



牛乳・乳製品の長所を引き出し、体に優しい料理を作る勉強会に参加する皆さん。会話も弾み作業も楽しく進みます



【写真上】収穫した野菜を厨房で調理する船下さん。希望するお客さんと一緒に収穫に行ったり、厨房に入ったりすることもあるという。

【写真下】軒下に干されている自家製かつお節。一昔前の当たり前の風景が、今ではなかなか見ることができなくなった。

**30** 年間、自分たちがやってきたことが認められたようであれなかった。

日本海が一望できる高台で『郷土料理の宿さんなみ』を営む船下富美子さん（60歳）は矢波が1月29日、『農林漁家民宿おかあさん100選』に選ばれた。これは農林水産省と国土交通省が3年間で100人の民宿おかあさんを選定し、農林漁家民宿の品質維持・向上や都市部へのイメージ戦略などに活用していくもので、今年度は船下さんを含め全国から20人が選ばれた。

先代から民宿経営を受け継いだ船下智宏さん・富美子さん夫妻は30年前、自分たちの民宿の方向性を『郷土料理の宿』に決めた。「地元食材、郷土料理をたたくさんの人知ってもらいたい」と二人で話し合ったという。そして平成9年に「お客さんにゆつくりと過ごしてもらいたい」と国道沿いから現在地に移った。1日3組、大人限定とすることで、都会では味わうことができない、静かなゆつ



【写真右】日本海が一望できるテラス。ここでゆつくりお茶を飲み、日本海を眺めて過ごすお客さんも多いとのこと。壁には落ち葉や布の切れ端を使った船下さん手作りのオブジェが飾られている。

くりとした時間を提供することに心がけている。「都会のまねはしたくない。きれいな星が見える。海をゆつくり眺める。その空間だけでも都会の人にとっては「ちそうになる」と話す船下さん。空港ができる以前から東京のお客さんやリピーターが多いということから、都会の人が能登に何を求めているのかが分かる。

**郷土料理で「食治」を**

「安心・安全は当たり前。お客さんには能登でしか食べることができない、おいしい郷土料理を食べてほしい」と話す船下さん。料理に使う野菜は近くの畑で約30種類を無農薬有機栽培し、漬け物や梅干し、かつお節などのほか『いしり』までもが自家製というこだわりだ。

船下さんは数年前から「食治」を提唱し、体をいたわる食事を大切にしている。旬の食材を使い、お客さんに合わせて調理方法も細かく変えているという。『食治』という言葉は、わたしたちが今までやってきたことが当てはまった言葉。地

元で採れた『旬』の食材には『生命』がある。それをいただくことが体をいたわる『食治』につながる」と船下さんは考えている。

食の安全が社会問題にまでなっている現在、「能登ほど食が豊富な地域はない。能登は安心・安全な食の拠点となることができる」と船下さんは言い切る。そして「食の鎖国をしなければいけない」と訴える。「その土地に古くから伝えられてきた伝統料理や郷土料理は、その土地で食するからこそ価値がある」という思いからだ。

「地産地消」「伝統文化を守る」など、船下さんが30年間変わらずに取り組んできた「当たり前」のことが、今ようやく大切なことだと見直されている。

「特別変わったことをしているつもりはない。昔の生活スタイルを、そのまま無理せずに行っているだけ。これからは自然体でやっていきたい」。

船下さんの「当たり前」の取り組みが、能登の貴重な食文化を守り続けている。

# 能登にしかない食文化を たくさんの人に知ってもらいたい。

農林漁家民宿おかあさん 100 選に選ばれた

**船下富美子**さん

Funashita Tomiko (60歳・矢波)

生涯学習振興大会

## 人づくりから始まる町づくりを

3月2日、生涯学習振興大会が能都庁舎で開催されました。会場には公民館活動を紹介するコーナーが設けられたほか、各表彰式やお笑いトリオ「レッゴー三匹」のリーダー、レッゴー正児さんを講師に招いた記念講演会などが行われました。

〈社会教育功労者表彰〉町端哲さん(宇出津) 鍋谷平次さん(鶴川)  
 〈私が町長だったら作文表彰〉最優秀賞 平翔太(柳田中 3年) 下島尚子(鶴川中 2年) 持平京佳(小水中 1年) 優秀賞 坂下麻美(柳田中 3年) 西中智晴(松波中 3年) 府中明香(能都中 2年) 池崎万優(能都中 2年) 浜高彰仁(鶴川中 2年) 藤田杏樹(小水中 2年)



「良い後ろ姿を見せる大人になって」と語るレッゴー正児さん

名古屋市での贈呈式終了後、賞状を掲げる中谷さん(写真左)



## 中谷喜久さんに中日農業賞特別賞 サルビアロード管理が認められ

中部9県(愛知、岐阜、三重、長野、滋賀、福井、静岡、富山、石川)で、農業や農産物の加工・流通分野などにおいて優れた成果を上げ、地域社会の活性化に貢献している農業者を表彰する第67回中日農業賞の特別賞を、柳田の中谷喜久さん(73歳)が受賞しました。中谷さんは4万本のサルビアがドライバーを迎える通称「サルビアロード」の管理を13年にわたり行っていて、農村環境の美化に努めているという理由で特別賞となりました。贈呈式は3月7日に名古屋市で行われ、出席した中谷さんに賞状と盾が手渡されました。

最初の目的地である白山神社の階段を上る参加者



## うしつ歩こう会歩き初め 仲間と一緒に楽しく健康づくり

宇出津地区を中心にウォーキングを楽しむ「うしつ歩こう会」の今年の歩き初めが3月9日に行われました。歩こう会の会員数は現在82人で、この日は46人が参加しました。開会式では、副会長の川端登喜夫さんが「歩くことで健康を維持し、親睦を深め、郷土を見直しましょう」とあいさつしました。

この日は白山神社、八坂神社、酒垂神社の宇出津地区にある3神社を巡るコースを設定し、郷土の歴史文化に触れながらのウォーキングでした。目的地の酒垂神社に到着した参加者は、お祓いを受けて今年のウォーキングの安全を祈願しました。

## 宮地川通常砂防工事完成式 土砂災害から地域・自然を守る

▶整備された親水ゾーンから80匹のシロザケを放流する  
谷本正憲県知事と地元児童

▼護岸の整備は自然石を使うなど景観にも配慮されています



宮地川通常砂防工事完成式が3月20日、宮地川沿いの特設会場で行われ地元住民や関係者ら約60人が事業の完成を祝いました。

宮地川は土石流危険渓流に指定されています。石川県では下流の民家や田畑を守るために、平成2年から土石流を防ぐ砂防ダム建設と併せて護岸の整備などを行ってきました。完成式では谷本知事が「砂防ダムの完成でこの地域の安全・安心が確保できます」とあいさつし、この地域のシンボルでもある「春蘭」の植栽やシロザケの放流などが行われました。

このあと宮地交流宿泊所「こぶし」で地区主催の祝賀会が開催され、参加者は地域の伝統芸能や地元で採れた山菜料理などを満喫していました。

## 蔵屋右七さん 100歳在宅長寿慰問 とりこし苦勞はせず在るがまま

3月20日、満100歳の誕生日を迎えた秋吉の蔵屋右七さん(明治41年生まれ)の長寿をお祝いしようと、持木町長が蔵屋さんの自宅を訪問しました。40年間の教員生活を終えてからは趣味を大切にしてきたという蔵屋さん。とりわけ75歳から始めた写仏は年忌仏の「十三仏」を描くなど、亡くなった奥様の供養のためにと想いを込めて制作しているそうです。

町長から花束やお祝い金を手渡され、長生きの秘訣について聞かれた蔵屋さんは「何事もよくよく悩まずに、物事をあっさり考えると気が病みませんよ」とにこやかに話していました。



記念すべき日に大切な家族、町長と一緒に記念撮影

## 町スポーツ少年団交流会 スポーツを通して友情を深める

野球やバスケットボールなど25団体およそ400人が加入している町スポーツ少年団。2月24日には、内浦体育館で普段の活動とは違った競技で団員同士の親睦を深めようと交流会が行われ、団員・指導者・保護者など200人が参加しました。

この交流会では、ほかの少年団の団員らとチームを組んで各競技を楽しみます。参加者全体を12チームに分け、大縄跳びや、だぶだぶの長ぐつでペットボトルを蹴ってリレーするユニークな競技など4種目で競い合いました。最後は保護者の人が愛情を込めて作ってくれた温かい豚汁が振る舞われました。



綱引きは制限時間15秒の一本勝負!

説明を聞き、縄文時代に思いを馳せる参加者



## 真協遺跡縄文館企画展 環状木柱列の「謎」に迫る企画展

平成19年度から21年度にかけて、真協遺跡の史跡整備が計画されています。真協遺跡縄文館では史跡整備に併せ「環状木柱列の復元 Part1」と題した企画展を2月22日から3月23日まで開催しました。今回の企画展は環状木柱列の紹介をするために、保存処理された木柱根8点、デジタルレプリカ4点、パネル20枚が展示されました。

2月24日には展示説明会が開催され、地元住民や関係者など約20人が、高田館長の説明を熱心に聞きました。次の企画展では環状木柱列の目的について紹介するという予定です。

3月

まちの出来事